

# 保育現場に役立つ

## 記録・お便り作成研修 開催要綱

**趣旨** 保育現場では、保育記録や週案・月案、保護者との連絡ノート、クラス便り等、多くの記録を保育者が作成しています。

本研修は「保護者との信頼関係構築」と「作成の負担軽減」を両立できるような、記録様式や記録の考え方、保護者への伝え方、子どもの育ちを観察する視点を学ぶことを目的に開催します。

### 研修のポイント！

#### 保育実践に役立つ保育記録について確認します

保育記録は、こどもの発達やあそびの発展に欠かせません。こどもを観察する目を養い、今後の保育計画に役立つ記録を作成する方法について確認します。

#### 保護者と保育者を繋ぐ「生きたお便り」作成について考えます

保護者が発行を楽しみにするような「魅力的なお便り」を作成する方法について、様々な実例をみながらわかりやすく学べます。

#### いつでもどこでも、何度でも学べます

オンデマンド配信のため、配信期間内は、好きな時間に講義の動画を視聴できます。また、何度でも講義の動画を視聴できるため、復習のツールとしても有効で、学習効果が高まります。

#### 開催形式

オンライン（オンデマンド配信）

#### 対象

現職経験が3年以上の保育所保育士等

#### 配信期間

令和7年 5月12日（月）～ 6月30日（月）

#### 申込期間

令和7年 3月10日（月）～ 4月 8日（火）

#### 研修費用

会員・準会員 5,000円 非会員 12,000円

#### 受講決定

令和7年 4月14日（月）までにご連絡します。

## プログラム

時間	研修科目	研修内容
約 90 分	<b>講義 1</b> 「明日の保育実践につながる保育記録とは」  吉岡 善美 氏 社会福祉法人乳児保護協会 理事 白百合愛児園 前園長	日常の保育実践で作成される保育記録は、保育カリキュラムの一部であり、今後の保育計画立案のための基盤となるものです。  ここでは、保育者の経験値や保育の捉え方によって記録の方法や視点が違うことを捉えつつ、保育者自ら書きたくなる、そして明日の保育実践につながる保育記録について理解を深めます。
約 90 分	<b>講義 2</b> 「保育ドキュメンテーション導入にあたっての効果とポイント」  瀧川 光治 氏 学校法人城南学園 大阪総合保育大学児童保育学部 教授	子どもの学びのプロセスについて、写真を使い記録する「保育ドキュメンテーション」は、子どもたちの詳細な状況を保護者に伝えることができます。  保護者と子どもの成長を共有し、さらに園について理解してもらうこともできます。  ここでは、保育に役立ち、保護者にも伝わる「保育ドキュメンテーション」を導入するにあたっての効果とポイントについて学びます。

※本研修は、令和6年度に実施した「記録・お便り作成研修」と同内容です。